

国語の全体概要

「書く能力」の設問では自分の考えを明らかにする問題で高い正答結果が確認できました。また言語についての知識・理解・技能では高い正答率を得ることができました。反面、話を聞いたことを基に書く内容の設問に対して理解の不足が確認できました。

国語の調査結果について		今後の対応
聞くこと 話すこと	話し合いの中から共通した内容を取り出して書く問題は、県平均よりも下回る結果でした。課題を解決するために、目次や索引を活用する設問は同等でした。	読む、書く、聞く・話す学習活動と共に、多読者表彰などで1人100冊読破の目標を設定し読書活動の推進を図ります。
書くこと	文章を立場を明確にして書いたり、質問や意見を述べる問題に対しては県の平均を下回る結果が得られました。詩を詠み比べて自分の考えを明確にする力は県の平均を上回りました。	国語の授業とは別に毎週木曜日の昼の時間に記述内容を読み取り、書く力をつける（国語タイム）を計画的に実施しています。
読むこと	詩の解釈における着眼点の違いを捉えながら表現の特徴をとって適切なものを選択する設問では県の平均よりも上回った結果が確認できました。	朝の時間に日ごろから文章に慣れ、親しむことを目的に読書タイムと読み聞かせ活動を全校を上げて取り組んでいます。
言語事項	漢字を正しく読むことや、書くこと、筆順や慣用句の意味や目的に応じて適切に敬語を使うことが求められた問題では県の平均を上回る正答率でした。情景描写から適切な語句を選択する問題では県正答を下回りました。	この結果を踏まえて、既習の漢字も含めて正しく読み書きができるように、国語の授業とは別に毎週木曜日の昼の時間に記述内容を読み取り、書く力をつける（国語タイム）を計画的に実施しています。

算数の全体概要

算数の基礎となる計算技能の設問では県の平均正答率を上回る結果を得ることができました。しかし、「技能」や「知識理解」をもとに課題を解決するために必要な「数学的な考え方」を問う設問では理解の不足が確認できました。

算数の調査結果について		今後の対応
数学的な 考え方	示された情報を基に、条件に合う必要な時間の見当をつけたりする問題や、情報を基に必要な量の大小を判断し、その理由を記述する設問では県の平均よりも下回る正答率が確認できました。	授業のなかで、自分の考えをもつ時間とともに、理解したことの定着を図る時間を確保し確実に学習理解ができるよう全校を上げて取り組んでいきます。
技能	四則計算と基準量と比較量を捉え何倍かを求める問題では県正答率を上回りました。示された条件を基に図形を敷き詰める問題では県正答を下回りました。	計算領域での基本的な内容の習得が十分でない児童には反復学習で基礎をしっかりと身に付けて基本と応用の両面に対応できる力を育てていきます。
知識理解	体積の単位と測定に関する問題では高い正答率を得ました。反面、割合の求め方が基準量と割合の関係式になる理解では県の平均を下回りました。	算数科の基礎的な技能を高めるために、引き続き朝の時間でのスキル学習を行っていきます。宿題は、基礎的な内容を着実に習得するための課題であり、家庭への啓発も引き続き行っていきます。